

Ryugasaki

vol. 202

2022
July

はつやま 初山参り

「子育ての浅間様」で名高い富士浅間神社では
旧暦6月1日に子どもの健やかな成長を願って
誕生から数え年7歳まで毎年続けて登山する
「初山参り」が行われます。

今年は3年ぶりの開催となりましたが
6月29日早朝からたくさんの親子連れが
富士浅間神社を訪れました。

ふじせんげん
富士浅間神社

(龍ヶ崎市八代町)

山頂の本殿でお参り

議

決

結

果

令和4年第2回定例会

(会期: 6月3日～6月17日(15日間))

議案等番号	件名	議決結果
議案	第1号 龍ヶ崎市入札等監視委員会条例について	全員賛成で可決
	第2号 龍ヶ崎市税条例等の一部を改正する条例について	全員賛成で可決
	第3号 龍ヶ崎市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	賛成多数で可決
	第4号 龍ヶ崎市介護保険条例の一部を改正する条例について	全員賛成で可決
	第5号 和解に関することについて	全員賛成で可決
	第6号 令和4年度龍ヶ崎市一般会計補正予算(第1号)	全員賛成で可決
	第7号 令和4年度龍ヶ崎市一般会計補正予算(第2号)	全員賛成で可決
	第8号 龍ヶ崎市教育委員会委員の任命について	全員賛成で同意
報告	第1号 専決処分の承認を求めることについて (龍ヶ崎市税条例の一部を改正する条例について)	全員賛成で承認
	第2号 専決処分の承認を求めることについて (龍ヶ崎市都市計画税条例の一部を改正する条例について)	全員賛成で承認
	第3号 専決処分の承認を求めることについて (令和3年度龍ヶ崎市一般会計補正予算(第15号))	全員賛成で承認
	第4号 専決処分の承認を求めることについて (和解に関することについて)	全員賛成で承認
附帯決議案 第1号	議案第7号 令和4年度龍ヶ崎市一般会計補正予算(第2号)に対する附帯決議	全員賛成で可決
令和4年 陳情第2号	中華人民共和国ウイグル人権問題に関する陳情	賛成少数不採択

※報告第5号～報告第8号は、地方自治法施行令で義務付けられている繰越計算書の報告であるため採決は行いません

※附帯決議の内容は、[次ページ](#)に掲載しています。また、陳情の内容は、[市議会ホームページ](#)に掲載しています

※賛否が分かれた議案等(部分)に対する議員の態度については、[次ページ](#)に掲載しています

賛否が分かれた議案等に対する議員の態度

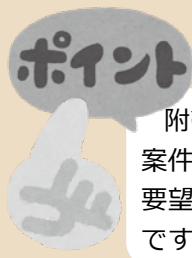


※採決の結果、賛否が分かれた議案等を掲載しています
 ※議長（滝沢議員）は採決に加わりません

○ = 賛成 × = 反対

議案陳情番号	議決結果	賛否数		議員名及び賛否の別																					
		賛成	反対	山宮	久米原	大野(み)	札野	櫻井	石嶋	金剛寺	伊藤	山村	加藤	岡部	石引	山崎	後藤(光)	滝沢	椎塚	油原	大竹	後藤(敦)	寺田	鴻巣	大野(誠)
議 3	可決	19	2	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
陳 2	不採択	5	16	×	×	×	×	○	×	○	○	×	×	×	×	×	○	-	×	×	×	○	×	×	×

附帯決議を可決しました



附帯決議とは、可決された案件を執行するにあたっての要望や留意事項を示したものです。

附帯決議案第1号が、21名の議員より提案され、審議の結果、全員賛成で可決されました。内容は、下記のとおりです。

附帯決議案第1号 議案第7号 令和4年度龍ヶ崎市一般会計補正予算（第2号）に対する附帯決議

新保健福祉施設建設事業については、令和4年度一般会計当初予算への計上が見送られたが、さらに利便性を向上させ、コストに見合った施設となるよう再検討がなされたうえで、この度、当該実施設計に係る委託料が補正予算として計上されたところである。

新保健福祉施設は、「市民が生涯にわたり健康で安心して暮らし続けるための支援拠点」として必要不可欠な施設であり、現保健センターが有する建物面積の不足や老朽化などの課題を考慮すれば、早期に取り組むべき事業であることから、委託料の計上は必要と考えるが、執行部から示された見直し案のままで事業を進めて行くことには再考の余地があるものと考えられる。

よって、新保健福祉施設建設事業の執行にあたっては、下記の事項について特段の配慮を求めるものである。

1. 保健センターとしての機能や利用環境に十分配慮した設計とすること
2. 福祉機能利用者のプライバシー等、利用環境に配慮した設計とすること
3. 建設コストを意識し、費用対効果を考慮した設計とすること



▲新保健福祉施設イメージ

以上、決議する。

令和4年6月17日 龍ヶ崎市議会

本会議

ダイジェスト Digest

▽第2回定例会（6月）

審議された主な議案の内容と、本会議で行われた議案に対する質疑の一部について掲載しています。
議案を所管する委員会においても、議案等の審査を行っており、その審査内容の一部を次ページに掲載しています。

◆議案第1号 龍ヶ崎市入札等監視委員会条例について

さきの官製談合防止法違反事件を受けて、今後の対策のひとつとして、入札などの透明性及び公平性の確保を目的とする入札等監視委員会を設置するため、新たに制定するものです。

◆議案第2号 龍ヶ崎市税条例等の一部を改正する条例について

地方税法等の改正により、すでに専決処分に対応を行った本年4月施行の部分以外について、所要の改正をするものです。

◆議案第3号 龍ヶ崎市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

地方税法施行令の改正により、国民健康保険税の基礎課税額と後期高齢者支援金等課税額の賦課限度額の改正をします。

◎質疑 伊藤議員 課税額引上げにより、保険料が増額となる世帯数

を伺います。
健康づくり推進部長 令和3年度に実施したシミュレーション

の結果ですと、条例改正前の限度額である医療給付費分63万円、後期高齢者支援金分19万円を超過した世帯数は、医療給付費分が70世帯、後期高齢者支援金分が178世帯でした。

◆議案第4号 龍ヶ崎市介護保険条例の一部を改正する条例について

介護保険の第1号被保険者の保険料について、新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少する場合などの保険料の減免を1年間延長するための改正をするものです。

◆議案第5号 和解に関する条例について

東日本大震災に伴う東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故のために当市が行った放射線対策に要した費用に関する損害賠償のうち、東京電力ホールディングス株式会社との間で合意に至っていなかった部分について、あつせんを申し立てていた、原子力損害賠償紛争解決センターから和解案が示されたことから、同案に基づき和解しようとするものです。

◎質疑 金剛寺議員 平成23年、24年度の請求金額から今回の和解金額

を除く支払額の累計を伺います。

産業経済部長 平成23年、24年度分の損害賠償請求については、おのおの翌年度に東京電力側に損害賠償請求を行っており、2か年度分の合計額は1億539万2258円ですが、その後、国から補助金120万23円を受領しています。なお、東京電力から支払われた賠償金については、原子力損害賠償紛争解決センターに申立てを行つた後に支払いを受けた305万728円を含めると、累計で977万1233円となります。

◆議案第7号 令和4年度龍ヶ崎市一般会計補正予算（第2号）

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ、3億849万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ、261億6451万1千円とするものです。
（主な事業等）
・窓口申請支援システム構築費
・新型コロナウイルススワクチン接種体制確保事業
・龍ヶ岡公園トイレ改修工事

◎質疑 後藤敦志議員 新保健福祉施設

建設事業の実施設計について、

今回、3階に多目的スタジオ、キッチンスタジオ、コワーキングスペース、テレワーク等ができるスペースが追加されることにより、多数の来館者が訪れることが想定されますが、福祉関係窓口のプライバシー配慮について伺います。

市長公室長 1階の市民窓口フロアでは北側を福祉エリア、南側を保健・子育てエリアとして区分し、施設入口から窓口までの利用者ごとの動線を適切に分けることとしています。さらに、個別の窓口にパーティションを設置するとともに個室の相談室を多く配置するなど、これまでよりもプライバシーに十分配慮した設計としています。また、2階の健診受診者や3階の市民交流エリア利用者については、施設入口近くに配置された階段やエレベーターを利用して直接移動できる設計とし、1階利用者との動線分離を図り、利用者相互のプライバシーにも配慮してまいります。



▲新しい保健センターは令和7年度に完成予定

委員会



第2回定例会においては、議案等の審査が3つの常任委員会（総務、文教福祉、環境生活）に付託され、各委員会において慎重に審査が行われました。その審査内容の一部について、掲載しています。

▼総務委員会

◆議案第1号

龍ヶ崎市入札等監視委員会条例について

委員より質疑があった後、採決の結果、全員賛成で了承しました。

委員 審議案件の選び方はどのようなになりますか。

契約検査課長 案件の選定方法は、規則での定めとなり、現時点では、委員会があらかじめ指名した委員が会議開催の30日前までに抽出することとあります。

◆令和4年陳情第2号 中華人民共和国ウイグル人権問題に関する陳情

委員より意見があった後、採決の結果、賛成少数で不採択とすることに決しました。

委員 在日ウイグル人が抗議の声を上げていること、そして、アメリカでジェノサイドとして認定していることは事実です。水戸市議会の他にも、常総市や阿見町、つくば市、北茨城市、那珂市と、同様な意見書の提出を行っているという事実がありますから、私も龍ヶ崎市議会と

して、こういった意見書を提出すべきではないかと思えますので、採択といたします。

委員 もちろん人権侵害はあってはならないということは、誰もが思うことです。陳情事項には、「実効性のある強い抗議行動」、また、「中国官憲かんけんと思われる中国人」という文言がありませんが、陳情提出者からの説明でも出ました。何を陳情したいのか分からないの思いもあります。

ですから、専門的な機関で総合的に判断し、その上で対応するべき案件だと思つので、私は不採択とさせていただきます。

▼文教福祉委員会

◆議案第7号

令和4年度龍ヶ崎市一般会計補正予算(第2号)

委員より質疑があった後、採決の結果、全員賛成で了承しました。

委員 乳幼児健康診査等事業について、本年4月1日から新生児の聴覚検査の助成が開始されましたが、どういった周知をされているのか伺います。
健康増進課長 3月中に検査を実施している医療機関に通知を

出し、公費助成を開始したことをお知らせしました。あわせて、市内で新生児聴覚検査を行っている済生会病院にポスターの掲示をお願いしたところです。

また、母子手帳交付時に検査の必要性を周知するよう徹底しております。

委員 学校給食運営費について、市内や県内の食材を使って、給食を提供するという説明でしたが、龍ヶ崎市産のものは具体的にどういった食材を使う予定ですか。

学校給食センター所長 龍ヶ崎市産のもので把握しているものと、お米、龍ヶ崎トマト、ねぎ、もやし、豚肉がございます。



▲茨城県産の魅力ある献立を提供します

▼環境生活委員会

◆議案第2号

龍ヶ崎市税条例等の一部を改正する条例

委員より質疑があった後、採決の結果、全員賛成で了承しました。

委員 改正により市税にはどの

ような影響が予想されますか。
税務課長 今回は、あくまでも公平性を担保するための改正なので、影響はないと考えます。

◆議案第7号

令和4年度龍ヶ崎市一般会計補正予算(第2号)

委員より質疑があった後、採決の結果、全員賛成で了承しました。

委員 公共交通対策費の地域交通支援事業について、補助金の内訳を教えてください。

都市計画課長 路線バス事業については1系統当たり100万円、8系統ありますので800万円、貸切バス事業については1社当たり100万円、4事業者ありますので400万円、タクシー事業については1台当たり10万円、3事業者で44台ありますので440万円、鉄道事業については1社に対して1千万円となっています。

委員 新長戸コミュニティセンター建設事業について、今後のスケジュールを伺います。
コミュニティ推進課長 令和5年5月から6月までに実施設計を進め、令和5年度から建設工事に着手し、令和6年度内にオープンとなるよう進めます。

市政を問う

一般質問



一般質問とは

議員が、市の行政全般にわたり、執行状況や将来の方針などを質問したり、政策提言を行うもので、定例会のみ行われます。質問時間は、答弁時間を含め、議員1名につき90分以内で、時間内であれば何回でも質問できます。

成年後見制度利用促進基本計画の策定を求める

金剛寺 博 議員

議員 国は平成28年の制度促進の法律で各自治体も基本計画を策定することを求めています。当市はまだ出来ていません。何時策定するのか、また内容について伺います。

温室効果ガス削減目標の改定を求める

改定を求める

議員 政府は令和2年、令和12年度の目標を平成25年度比でこれまでより20%引き上げて、46%削減目標を策定しましたが、当市の計画は従来のままです。見直しを求めます。計画改定後すでに多くの自治体が行っている「2050年ゼロカーボンシティ」の宣言については判断します。

交付金を活用して困窮者支援制度の創設を求める

困窮者支援制度の創設を求める

議員 国は原油価格・物価高騰対応交付金を予算化しましたので、この交付金を活用した困窮者支援制度の創設を求めます。市長公室長 9月議会の補正予算を目的に、必要な支援策を検討します。

新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金について

札野章俊 議員

議員 4月に閣議決定されたコロナ対応地方創生臨時交付金にはどんな事業が必要と考えますか。

市長公室長 コロナによるウクライナ侵攻の影響で発生した原油価格や物価の高騰は市民や事業者にとって大きな負担となっており、生活者の負担軽減や事業者への支援も講じることが必要です。交付金の趣旨を踏まえ、本市の実情に応じた事業が遂行できるよう、具体的な事業の検討を進めています。議員 今議会に提案されているコロナ対応交付金の活用をお聞きます。

高齢者の免許返納について

議員 高齢者ドライバーに、小型で高齢者に優しい安全で快適な超小型モビリティを推進すべきと考えます。

市長公室長 マイクロカーを含む超小型モビリティはコンパクトで小回りがきき、環境性能に優れ、一人から二人乗り程度の車両で推奨すべきか慎重に考えてまいります。

大野 みどり 議員

生命を守るAEDについて

議員 市内AED設置情報はスマホから素早く検索できることが重要です。市のアプリ「防災龍ヶ崎」にAEDマップの項目を入れて、検索できるようにするのはいかがでしょうか。

危機管理監 情報の視認性や検索性が高い当該アプリを活用の上、AED設置情報を確認できるようにすることは有益と考え、導入に向けて

て検討してまいりたい。

議員 AED附属品として女性の傷病者のプライバシー保護につながる三角巾の配置を求めますが、いかがでしょうか。

危機管理監 女性に対してAEDの使用をちゅうちよする場合は想定されますので、三角巾をAEDボックス内に設置し、その使用目的や方法等を明示してまいりたい。

男性トイレに汚物入れの設置について

議員 がん治療や排尿障害等により、尿漏れパッドを使用する男性もいます。

まずは、庁舎の男性トイレに汚物入れを設置してはいかがでしょうか。

総務部長 パッド使用者の利便性の向上に資するものと認識しており、設置に向けて調整してまいります。

石引 礼穂 議員

道の駅の再検証について

小さくつくって、広げていく

議員 道の駅の再検証についてお伺いします。**市長公室長** 道の駅整備に必要な概算事業費を再算定し、さらに利用者数や物販、飲食の売上額などを整理した管理運営に係る収支状況などの検証内容を、本年10月を目途に取りまとめたいと考えております。

議員 再検証をするのであれば、私は事業を縮小して道の駅整備をしていくのが良いのではないかと考えています。

道の駅本来の基本コンセプトを考えると、別に農産物を販売する大規模な施設をつくらなくても、地域連携機能を持ち、地域とともにつくる個性豊かなにぎわいの場がつかれると思います。そう考えると、牛久沼トレイルも一緒に考えていくべきです。牛久沼トレイルの全体構想を当市できつ

ちりと考えた上で、当市の土地の部分だけ先行してトレイルをつくる。一周にはなりません。最初は途中の折り返しトレイルでもいいのではないのでしょうか。道の駅と一体化した折り返しトレイル。つまり折り返しトレイルの拠点となる道の駅にすれば良いと思います。

議員 牛久沼トレイルについても、当市としては道の駅と一緒に活用をするために先行して着手するぐらいの本気度を見せないとだめだと思えます。そしてそこに人が集まり、個性豊かなにぎわいが生まれれば、他の市町村も動き出すのではないかと考えます。はじめは小さくつくって、利用者の声を聞きながら段階的に広げていく。というスタイルで行うのが最善策と考えています。

山宮 留美子 議員

今後の危機管理体制について

議員 コロナ禍により行動が制限される中で、地域の防災力が低下をしています。更にベテランの危機管理監が退職をされ、専門的知識のある危機管理体制が整っていない中、いざ災害が起きたらと考えると大変不安を感じています。

今後の取組として、以前のように専門的知識のある危機管理監の配置についての考えと、配置予定があればお聞かせください。

総務部長 近年、台風の激甚化や地震の頻発など、全国各地で大規模な災害が発生しており、当市でも様々な危機事象に対応する必要がありますから専任の危機管理監を配置する事が望ましいと考えています。

当市の危機管理体制の維持向上に意欲のある人材を早期に迎え入れられるよう、関係機関との調整を進めているところであります。

議員 2018年版の「防災の手引き」の見直しについての考えはありますか。

危機管理監 発行から5年経過した事で、災害対策基本法の改正に伴う避難発令情報の変更や、新型コロナウイルス感染症の対応については「りゅうほー」や、市のSNS等で市民へ周知してきました。

その他には大きな法改正も無いので、現時点では見直しの計画はございません。

掲載以外の質問項目

◆若者・子育て世代住宅取得補助事業について

◆女性のデジタル人材育成の推進について

◆インクルーシブ公園について

久米原 孝子 議員

防災訓練について

議員 防災訓練は、コロナ禍において実施が困難であっても、防災について市の考えをお伺いします。

危機管理監 コロナ禍でも市民の防災意識を高める取組として、茨城県W E B版マイ・タイムラインがあります。自宅で作成できるタイムラインを、新しい形の地震に、いつでも見直すことができます。市民の皆様には、防災意識を高めるために、オンライン訓練とオフライン訓練を併用できるような仕組を検討してまいります。

産前産後の取組について

議員 産前産後のきめ細かい支援が必要です。

当市で産前産後ヘルパー事業を早期に取り組み、子育て支援の考えをお伺いします。出産、子育て環境の充実を図りながら、若い世代が子を産み、育てたいと思えるまちになるよう、鋭意努力してまいります。

油原 信義 議員

龍ヶ崎市政治倫理に関する条例について

議員 条例第3条では、市長等若しくは議員、その配偶者または2親等以内若しくは同居の親族が関与する企業は、市及び市が構成団体となつて一部事務組合等に対し、工事請負、物品納入及び業務委託の契約並びに下請け工事を辞退しなければならぬとしております。(有) 萩原清掃社が9件の業務に指名されており、4件について落札者となつております。

条例施行規則第2条2項4号において市長等若しくは議員、その配偶者または2親等以内若しくは同居の親族が実質的な支配力を及ぼしている企業と規定しているが、(有) 萩原清掃社との関わりについて市長の認識は！



掲載以外の質問項目
◆稲敷地方広域市町村圏事務組合、龍ヶ崎地方衛生組合、龍ヶ崎地方衛生組合の統合・複合化について

後藤 光秀 議員

道の駅建設予定地の活用(案)について

議員 5月上旬に市民からメールが届きました。

龍ヶ崎大橋の高架下や牛久沼沿いの廃墟となっているホテル跡地には多くの落書きが見受けられるが、中には描写性も高くネット上で話題になっているものもある。このような落書きの歯止め対策としても、グラフィティを合法的に描けるリーガルウォール(壁)を設置してはどうか。市が管理することによって、インスタ映えによる観光地となったり、違法な落書き対策にもなるのではないかといったご提案がありました。過去には水戸市をはじめ、リーガルウォールを造る取組は国内各地で行われているがどれも期間限定で、本市で半永久的に設置すれば日本初の試みとなる。

市長公室長 リーガルウォールは描いてはいけない場所に描かれること
◆ゆるキャラグッズの販売促進について

伊藤悦子議員

「ヤングケアラーの実態調査」

実施と答弁

議員 国が4月、小学6年生を対象にした初のヤングケアラーの調査結果は、6・5%が家族の世話をしていると答えています。その支援は、子どもの権利条約に沿うことです。

国の令和4年度の概算要求にある自治体の実態調査への財政支援の活用

「インボイス」制度の影響は

議員 来年10月の制度導入で影響はいかがか。

産業経済部長 インボイス制度は、所定の内容が記載された適格請求書で仕入れ税額控除を受ける制度です。消費税の納税義務のない課税売上が、1千万円以下の事業者は適格請求書の発行ができず、消費税の免税事業者から仕入れを行う事業者は仕入れ税額控除が受けられず、免税事業者との取引を避けることや、必

大竹 昇議員

デジタル田園都市国家構想の

実現に向けて

議員 デジタル実装サテライトオフィスを地方に整備することの意義や効果は如何か。

市長公室長 テレワーク等により時間や場所に制限されない多様な働き方が可能で、当市への移住や市外への流出防止に効果があり、様々な業種の対話から新たなイノベーションの創生も期待できます。

議員 地方創生テレワーク交付金を活用した事業の方向性や現状は如何に。

市長公室長 市内の空き店舗や空きスペースを使ったテレワーク等の整備に、最大100万円の助成金があります。

議員 スマート農業へのアプローチは如何に。

産業経済部長 当市の大規模農業者はドローンの導入やスマートフォンでの圃場のデータ管理などの技術を活用しています。また、6次産業や雇用創出

鴻巣義則議員

入札について、

指名排除はなかったか？

議員 指名入札に対する市長の考えは。

市長 指名入札における事業者の選定は、入札の透明性を確保するために、市の規程において選定基準を定め名簿に記載された事業者から業務の内容等を勘案して選んでいます。

議員 地元事業者の選定についてはどのように考えていますか。

市長 市内事業者で対応が可能な案件については積極的に市内事業者を選定しています。

議員 指名事業者の選定の流れについてはどのようになっていますか。

総務部長 契約検査課で原案を作成し発注予定額に応じて、決裁権者が決裁しています。発注予定額が、1千万円以上については市長が決裁しています。

議員 アリーナの空調設備改修工事についてはどの

議員 指名入札に対する市長の考えは。

市長 指名入札における事業者の選定は、入札の透明性を確保するために、市の規程において選定基準を定め名簿に記載された事業者から業務の内容等を勘案して選んでいます。

議員 地元事業者の選定についてはどのように考えていますか。

市長 市内事業者で対応が可能な案件については積極的に市内事業者を選定しています。

議員 指名事業者の選定の流れについてはどのようになっていますか。

総務部長 契約検査課で原案を作成し発注予定額に応じて、決裁権者が決裁しています。発注予定額が、1千万円以上については市長が決裁しています。

議員 アリーナの空調設備改修工事についてはどの

道の駅、赤字になれば、

市民に説明がつかない

大野 誠一郎 議員

議員 採算がとれる道の駅の駅が重要かと思えます。管理運営調査の中では、年間利用者数を50万人、60万人、70万人、90万人と想定していますが、収支状況について、どれだけの赤字なら許容できますか。

市長 今、収支状況は検証中と何度も申し上げていますが、赤字になるようであれば、市民に対して説明がつかない状況になるので、その辺についても今、調査研究中です。**議員** 道の駅事業について20億円費やした場合、どれだけ回収出来れば良いと思いますか。

市長 20億円の考え方についてですが、年間2億の黒字があれば10年で返せるという計算になります。黒字にするのは、道の駅に来て頂かないとという考え方もあります。

議員 計画の中で、道の駅整備の資金回収（減価償却費）については、70万人以上の利用者数が30年続いた場合、固定費として、30年間で4億円回収すると計画されていますか。

また、指定管理者（市から道の駅の管理運営を委託された業者）からは、この固定費の他に、変動賃料として、営業利益額が3千万円以上の場合15%（1千万円以下は0円）が納付される計画です。こういったことも検証していただき、市民の皆さんに協議をして頂きたいと思えます。

市民感覚でいえば、もし20億円かかったならば、20億円取り戻したいと思うのが普通だと思います。

掲載以外の質問項目

◆牛久沼の利活用について

関東鉄道竜ヶ崎線、廃線の可能性は？

後藤 敦志 議員

議員 コロナ禍による関東鉄道竜ヶ崎線の乗客数や経営への影響は、

都市整備部長 令和2年度の竜ヶ崎線の輸送人員は56万7128人で、輸送密度は1506人です。営業収益は9931万円で、経常損益は6893万円の赤字です。

議員 JR西日本は、路線維持が難しいと考える輸送密度2千人を下回る赤字の17路線30区間を公表しました。鉄道を存続させるのか、他の交通手段に転換するのか、自治体などの議論に生かす狙いがあります。輸送密度4千人が健全とされる基準であり、その半分以下の路線を民間企業が単独で維持していくことは非常に難しい現状を認識した上で、

今後の在り方を検討しなければならぬと考えています。刺激的な表現ですが、廃線の可能性について、

どのように認識していますか。

市長 現在、関東鉄道から竜ヶ崎線の今後の方向性について具体的な相談はありませんが、鹿島鉄道の廃線前の状況に類似していると聞き及んでおり、相当に厳しい状況であると危機感を抱いています。

万が一、廃線になれば、通勤通学のピーク時の代替案に加えて、市の公共交通政策全体にも影響を及ぼし、まちの活性化、魅力の減衰にもなりかねないと認識しています。

議員 公的支援を行っても鉄道を存続させるのか、それとも、市民全体から考えれば利用者の少ない鉄道に血税を投入する事は避け、他の公共交通手段に転換を図っていくのか。市民の皆様も交え、議論を早急に始めなければいけないと考えています。

地域公共交通を守れるのか

加藤 勉 議員

議員 新型コロナ発生以前の竜ヶ崎ニュータウン関連の民間路線バスは、通常運行の最終便が午後11時5分前後までであり、その後3本の深夜バスがありました。しかし、現在は新型コロナ禍の影響等から、通常運行の最終便が繰り上げられ、深夜バスが休止の状況となっています。

今後、通常運行ダイヤの繰り下げや深夜バスの復活は可能なのか伺います。

市長 竜ヶ崎ニュータウン方面への路線バスは、都内等に通勤・通学されている利用者から、最終便の繰り下げや深夜バスの再開に関する意見を頂いています。今後は、利用者数が新型コロナ禍前の状況に戻った段階で運行再開の意向があると伺っており、

バスの再開については粘り強く協議していきたい。

議員 事業者の立場に立てば、新型コロナの影響等から利用者数が戻らない状況で、新型コロナ前の運行ダイヤに戻しますとは言えないと思います。市（行政）がどういった支援をすれば運行ダイヤを見直せるのか、率直な本音の話合いが必要ですし、市側から働きかけを行う積極的な姿勢も必要だと思います。現在、龍ヶ崎市では、公共交通を維持する観点から、国の新型コロナウィルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して交通事業者を支援しています。

野に、通常運行の最終便の繰り下げや深夜バスの再開について、運行事業者と協議するための戦略や戦術を練り直して頂きたい。

石嶋照幸議員

時代に即した土地の

有効活用をするべきではないか

議員 本市の約4割が農地ですが、その農地のどれ程が休耕地になっているのでしょうか。

そして、その休耕地の活用方法などあります。市長は本市の将来像をどの様に考え、将来のまちづくりをしていくのでしょうか。

市長 持続可能な都市づくりを進めていくため、各市街地間のネットワーク性の向上を図ることに、多極ネットワーク

のコンパクトシティの形成を目指していきま

す。
議員 時間軸の分析も含め、計画を立てていかないと持続可能なまちにはならないです。

議員 用途地域に見合った適切なエリアに、適切に開発を進める事が重要では無く、時代に即した活用をしていくべきではないでしょうか。

議員 将来の為に必要であれば、用途地域にとらわれずに活用するべきだと考えます。

議員 休耕地は農地転用なども含めて土地の活用を考える時代だと思いま

す。

市長は本市の将来像をどの様に考え、将来のまちづくりをしていくのでしょうか。

山村 尚議員

ICT（情報通信技術）を

活用した教育現場の現在とこれから

議員 ICTに関する小中学校教育現場の環境整備状況は。

教育部長 機器、設備の環境整備は完了しましたが、人材配置に関してはICT教育に優れた教職員の育成を今後行っていくと考えています。

議員 授業にICTを活用したことで見られる子どもたちの変化や学力の伸びは。

教育部長 質問調査では学習用端末を使った授業は分かりやすい、意欲的に取り組めたとの回答が多くありました。具体的な数値はまだ出ていませんが回答以外では論理的考察力も育まれていることを感じています。

議員 教育現場へのICT活用についてどのようなPDCAサイクルを回しているのか、またその中から発生した情報の共有方法は。

教育部長 情報教育主任等で月ごとにテーマを決め情報交換会を開催しています。その中で意見交換、教科での取組事例紹介、明らかになった課題の対応を行い情報の共有を図っています。

議員 子どもたちのどの部分をどのように伸ばすか、その手段としてICTをどのように活用するか。先行実施するモデル校を設け、そこから新しい取組を全学校へ展開、または、展開先からフィードバックを行う、このような仕組みを構築してはいかがでしょうか。授業へのICTの活用は子どもたちの持つ多くの可能性引き出すことができます。学校全体としての仕組みづくりをお願いします。

議員 教育現場へのICT活用についてどのようなPDCAサイクルを回しているのか、またその中から発生した情報の共有方法は。

議員 教育現場へのICT活用についてどのようなPDCAサイクルを回しているのか、またその中から発生した情報の共有方法は。

議員 教育現場へのICT活用についてどのようなPDCAサイクルを回しているのか、またその中から発生した情報の共有方法は。

市玄関口へ

大規模ハウス栽培は適切か

議員 市内西部地区に大規模民間農業の参入意向に伴い、地権者の意向調査へ市費投入、参入希望企業への視察は正當なのか。

産業経済部長 岡山県笠岡市に参入した際の対応や支援策及び当該企業の農作物栽培高度化施設の現地確認を目的に視察をし、笠岡市の対応と当該企業の実態把握と速やかな対応検討の支出で、利害関係者等に対する直接の公費支出には当たらない。

議員 今回の調査区域、西部地区は市内唯一のJRの駅があり、市の玄関口としても位置づけられている場所にハウス栽培として活用していくことは適切か。

市長 農業振興地域内で、農業に関する土地利用が図れれば齟齬がない土地であり、市街化調整

区域における土地利用は、法規制等のハードルが高いと認識しています。一方、ご指摘の主要な幹線道路沿いについては賑わい創出の点、またポテンシャルの高いエリアです。時代の変化でニーズも変わりますので、変化に対応し適切な土地利用、規制、誘導に努めます。

議員 企業の要請ではなく、当市のグランドデザインが重要。JR龍ヶ崎市駅に向かう主要な幹線道路で賑わい創出等発展性が高いエリアで、有効的な土地利用が当市の将来を左右する。

議員 今回の調査区域、西部地区は市内唯一のJRの駅があり、市の玄関口としても位置づけられている場所にハウス栽培として活用していくことは適切か。

市長 農業振興地域内で、農業に関する土地利用が図れれば齟齬がない土地であり、市街化調整

区域における土地利用は、法規制等のハードルが高いと認識しています。一方、ご指摘の主要な幹線道路沿いについては賑わい創出の点、またポテンシャルの高いエリアです。時代の変化でニーズも変わりますので、変化に対応し適切な土地利用、規制、誘導に努めます。

議員 今回の調査区域、西部地区は市内唯一のJRの駅があり、市の玄関口としても位置づけられている場所にハウス栽培として活用していくことは適切か。

椎塚俊裕議員



▲龍ヶ崎市のグランドデザインに合った土地の活用を

推薦

議員表彰

▼教育委員会委員

新任



膳法 亜沙子 氏

▼議員15年以上表彰

(全国市議会議長会)

(茨城県市議会議長会)

後藤 敦志 議員

▼議員10年以上表彰

(全国市議会議長会)

油原 信義 議員



龍ヶ崎市議会では本会議の様子を、費用をかけずにYoutube(ユーチューブ)で配信しています。

龍ヶ崎市議会チャンネルを登録いただくと、新しい動画が公開された際や、ライブ配信が開始された際、通知を受け取ることができます。ぜひ、チャンネル登録をお願いします。

まちかどトピックス

夏の風物詩である「撞舞」が、3年ぶりに開催されることとなり、市役所南側では本番に向けて、撞舞の練習が始まりました。

撞舞は、雨乞いや五穀豊穡、または疫病除けの意味があると言われており、舞男(舞の演じ手)が放った矢を拾った人は、災厄を1年間免れると言われています。

- 本番は、左記のとおり開催予定です。
■実施場所 龍ヶ崎市根町「撞舞通り」
■期 日 令和4年7月24日(日)
■時 間 夕刻(概ね午後6時頃)
■お問合せ先 龍ヶ崎市撞舞保存会(市役所商工観光課内)



編集後記

幼い頃、おじいちゃんの車に乗ることが楽しかった。当時の車はサイドミラーがフロントフェンダーに付いていて、そのミラーに映る黄昏は時々ゆつくりと、そして人や車の流れに合わせる様にまた、白線に沿って動き出す。

プロ野球選手になりたかった。パイロットになりたかった。あの頃、夢に向かって走っていた。そんな風に諦めは理由が生まれ、軌跡は形を変えて、時の流れに息を合わせながらも戸惑い、恍惚と不安に生きる大人が鏡に映し出される。二十年前はスマホやSNS

など、様々なツールがこれほどまで当たり前と化した時代が訪れるなんて、一体どれだけの人が想像しただろう。未来を語る政治もまた然り。

第二回定例会が閉会し、編集後記の筆を執る前に、子どもの頃の夏休みを思い出していました。よく遊んだ公園や街並は時代と共に変わり、ガードレールさえも当時の残像を残しつつ、寂しさの中に安心感もあり。そのかけがえのない龍ヶ崎。紆余曲折しながらも、市議会は皆様の故郷づくりにいつも注力しています。

後藤 光秀 記



次の議会

9月2日

開会予定です

令和4年第3回定例会は

広報委員会

- 委員長 久米原孝子
副委員長 岡部 賢士
委員 大野みどり
委員 伊藤 悦子
委員 後藤 光秀
委員 後藤 敦志